

製品名: C/EBP α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21124**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:38kD;Observed MW:38kD

抗原情報

遺伝子名	CEBPA
別名	CEBPA;CCAAT/enhancer-binding protein alpha;C/EBP alpha
遺伝子 ID	1050.0
SwissProt ID	P49715
免疫原	ヒト CEBP アルファの合成ペプチド

背景

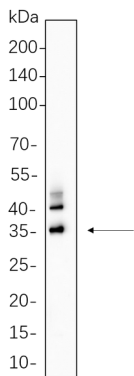
細胞局在: 核。このイントロンを持たない遺伝子は、塩基性ロイシンジッパー (bZIP) ドメインを含む転写因子をコードし、標的遺伝子のプロモーター中の CCAAT モチーフを認識する。コードされたタンパク質は、CCAAT/エンハンサー結合タンパク質 β および γ

とのホモ二量体、およびヘテロ二量体として機能する。このタンパク質の活性は、細胞周期制御および体重恒常性維持に関与する遺伝子の発現を調節することができる。この遺伝子の変異は急性骨髄性白血病と関連している。インフレームの非 AUG (GUG) 開始コドンと AUG 開始コドンを交互に用いることで、異なる長さのタンパク質アイソフォームが生じる。異なる翻訳開始は、GUG と最初の AUG 開始コドンの間に位置する、アウトオブフレームの上流オープンリーディングフレームによって媒介される。 [RefSeq 提供、2013 年 12 月]

研究分野

-

画像データ



HepG2 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを C/EBP α ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。